

1教科目標

広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。

2評価の観点及びその趣旨

社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての知識・理
社会的事象に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、よりよい社会を考え自覚をもって責任を果たそうとする。	社会的事象から課題を見だし、社会的事象の意義や特色、相互の関連を多面的・多角的に考察し、社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	社会的事象に関する諸資料から有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	社会的事象の意義や特色、相互の関連を理解し、その知識を身に付けている。

3公民的分野の目標

- (1) 個人の尊厳と人権の尊重の意義、特に自由・権利と責任・義務の関係を広い視野から正しく認識させ、民主主義に関する理解を深めるとともに、国民主権を担う公民として必要な基礎的教養を培う。
- (2) 民主政治の意義、国民の生活の向上と経済活動とのかかわり及び現代の社会生活などについて、個人と社会とのかかわりを中心に理解を深め、現代社会についての見方や考え方の基礎を養うとともに、社会の諸問題に着目させ、自ら考えようとする態度を育てる。
- (3) 国際的な相互依存関係の深まりの中で、世界平和の実現と人類の福祉の増大のために、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことが重要であることを認識させるとともに、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることが大切であることを自覚させる。
- (4) 現代の社会的事象に対する関心を高め、様々な資料を適切に収集、選択して多面的・多角的に考察し、事実を正確に捉え、公正に判断するとともに適切に表現する能力と態度を育てる。

4指導計画・評価計画表

H31 月	指導計画	評価規準				評価方法
		社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての知識・理	
6 月	1節 現代社会と私たちの生活 スーパーマーケットから現代社会を見てみよう 1 グローバル化-結び付きを深める世界 2 情報化-情報が変わる社会の仕組み 3 少子高齢化-変わる人口構成と家族 4 持続可能な社会に向けて	・現代社会の特色や日本の伝統や文化に対する興味、関心を高め、それらが社会生活にどのような影響を与えているか、また、自分たちはその中でどのように生きていくべきかなどについて、意欲的に考えている。	・グローバル化、情報化、少子高齢化などが政治、経済、国際関係に影響を与えていることについて、様々な資料をもとに多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	・様々な写真や統計資料などから、現代日本の特色や社会の変容などを適切に読みとっている。	・現代日本の特色としてグローバル化、情報化、少子高齢化などがあることを理解し、その知識を身に付けている。 ・グローバル化、情報化、少子高齢化が互いに関連し合いながら、政治、経済、国際関係に影響を与えていることに気付いている。	テスト ワークシート ノート 授業観察 話し合い活動
	2節 わたしたちの生活と文化 1 私たちの生活と文化の役割 2 暮らしに生きる伝統文化 3 多文化共生を目指して	・日本の文化の多様性に気付き、それらを尊重することの大切さに気付いている。 ・地域に見られる伝統的な文化の継承や新しい文化の創造に主体的に参加しようとしている。	・日本の伝統と文化について、身近な生活や地理的分野、歴史的分野の学習内容などをもとに、多面的・多角的に考察している。 ・文化の継承と創造について、自らの考えを適切に表現している。	・複数の資料を比較し関連付けながら、現代社会における文化の意義や影響、日本の伝統と文化の特色、グローバル化、情報化、少子高齢化のもたらす文化への影響などについて読みとっている。	・科学、宗教、芸術など文化には様々な領域があることに気付き、それらが社会生活の様々な場面で影響を与えていることを理解している。 ・日本の伝統と文化の特色について、その歴史的背景や地域的な多様性も含めて理解している。	テスト ワークシート ノート 授業観察
	3節 現代社会の見方や考え方 1 社会集団の中で生きるわたしたち 2 効率と公正 3 きまりをつくる目的と方法 4 きまりの評価と見直し	・身近な社会集団を通じて、社会生活における物事の決定の仕方やきまりの意義に対する関心を高め、それらを意欲的に追及している。	・具体的な事例をもとに、社会生活における物事の決定の仕方やきまりの意義について、対立と合意、効率と公正などの見方や考え方を踏まえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果をわかりやすく適切に表現している。	・社会生活における物事の決定の仕方やきまりの意義に関する事例を収集し、現代社会をとらえる見方や考え方を理解するために役立つ情報を適切に選択して、読み取ったり、図表などにまとめたりしている。	・社会生活における物事の決定の仕方やきまりの意義と必要性、現代社会をとらえる見方や考え方の基礎としての対立と合意、効率と公正などについて、社会の形成者としての立場から理解し、その知識を身に付けている。	テスト ワークシート ノート 授業観察

9月	第2章 人間の尊重と日本国憲法	1節 人権と日本国憲法 ちがいのちがいは	・身近な生活の中にある人権上の課題を取り上げ、日本国憲法をはじめとする法との関わりに着目しながら、意欲的に追究している。	・日本国憲法の基本原理に関する諸課題について、そのあらましや解決への方向性を、日本国憲法の規定をもとに多面的・多角的に考察し、その過程や結果をわかりやすく適切に表現している。 ・「ちがいのちがいは」などの話し合いの中で、自分の考えを、根拠を挙げてわかりやすく表現している。	・人権保障の考え方と日本国憲法をはじめとした法に関する資料を様々な情報手段を活用して収集し、学習に必要な情報を適切に選択し、読み取ったり、図表などにまとめたりしている。	・人権が法によって保障されていること、日本国憲法の基本原理(国民主権、平和主義、基本的人権の尊重)と現代社会における意義、天皇の地位と国事行為の特色について理解し、その知識を身に付けている。	テスト ワークシート ノート 話し合い活動 授業観察
		2節 人権と共生社会 1 基本的人権と個人の尊重 2 平等権-共生社会を目指して 3 自由権-自由に生きる権利 4 社会権-豊かに生きる権利 5 人権保障を確かなものに 6 「公共の福祉」と国民の義務	・個人が尊重され、ともに助け合って生きる社会を実現するために自分ができることについて、意欲的に考えたり、話し合ったりしている。 ・日本国憲法に定められている基本的人権と社会生活とのつながりに関心をもち、具体的な事例を意欲的に探したり、調べたりしている。	・身近な生活や資料の中から、様々な差別問題の内容と差別撤廃への取り組みについて調べ、差別を許さない民主的な社会をつくるにはどうしたらよいかについて、話し合いなどを通じて多面的・多角的に考え、自らの考えを述べたり、レポートにまとめたりしている。	・読み物資料や新聞記事、統計資料などから、基本的人権に関する課題について読み取り、それをノートにまとめたり、発表したりしている。	・日本国憲法に定められた基本的人権について、具体的な生活とのかかわりから理解し、自由・権利と責任・義務の関係を社会生活の基本として広い視野から正しく認識し、その知識を身に付けている。	テスト ワークシート ノート 授業観察
10月	第3章 現代の民主政治と社会	3節 これからの人権保障 1 新しい人権①-産業や科学技術の発展と人権 2 新しい人権②-情報化の進展と人権 3 グローバル社会と人権	・人権をめぐる近年の動向について関心を高めるとともに、現代社会における人権上の課題について、社会の形成者としての立場から関心をもち、自ら人権を守り、民主的な社会生活をつくり上げようとする態度が見られる。	・社会の変化に伴って生じた人権上の新しい課題について、日本国憲法をもとに課題を見出し、対立と合意、効率と公正などの見方や考え方を多面的・多角的に考え、意見を交換したり、文章にまとめたりしている。	・社会の変化にともなってきたかのような人権上の課題が生じてきたかを、コラムや統計資料などから読み取り、図表などにまとめている。	・具体的な事例を通して、社会の変化に伴って人権の考え方が変化することに気付くとともに、環境権やプライバシーの権利などの新しい人権が主張されるようになってきたことを理解し、その知識を身に付けている。	テスト ワークシート ノート 授業観察
		1節 現代の民主政治 だれを市長に選ぶべき? 1 民主主義と政治 2 政治参加と選挙 3 政党と政治 4 マスメディアと世論	・身近な生活と政治とのかかわりに関心をもち、身の回りの社会的事象から、政党の役割や選挙の仕組み、現代日本の政治の課題について意欲的に追究している。 ・みんなで話し合い、決定するという民主政治の基本的な考え方に立ち、積極的に話し合いに参加し、考えようとしている。	・議会制民主主義や多数決の原理について、対立と合意、効率と公正などの見方や考え方を活用し多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ・選挙をはじめとする国民の政治参加が民主政治を支えていることに気付き、望ましい政治参加のあり方について、資料や話し合いなどを通じて多面的・多角的に考え、自分の考えをわかりやすく表現している。	・最近の選挙に関する話題や各政党の政権公約などについて、新聞記事やインターネットなどを活用して資料を収集し、複数の資料を比較したり、課題に即して読み取ったり、まとめたりしている。	・政治や議会制民主主義の意義や基本的な考え方について理解している。 ・多数決の原理と運用のあり方、選挙制度、政党や世論の役割などについて理解し、その知識を身に付けている。	テスト ワークシート ノート 授業観察
10月 11月	第3章 現代の民主政治と社会	2節 国の政治の仕組み 1 国会の地位と仕組み 2 国会の働き 3 行政の仕組みと内閣 4 行政の役割と行政改革 5 裁判所の仕組みと働き 6 裁判の種類と人権 7 裁判員制度と司法制度改革 8 三権の抑制と均衡	・国の政治に関心をもち、見学や調査活動を含めた多様な学習活動に積極的に取り組んでいる。 ・裁判員制度をはじめとする司法制度改革について関心をもち、意欲的に追究している。	・議会制民主主義の意義について考えるとともに、国の政治にかかわる様々な事例から課題を見出して、対立と合意、効率と公正などの見方や考え方を活用して多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ・模擬裁判などの活動を通して、裁判の役割と国民の司法参加の意義について考えるとともに、自分の考えをまとめて論述したり、議論を通して考えを深めたりしている。	・国会や内閣の仕事について、様々な資料を収集し、図表などにまとめたりしている。 ・裁判に関連する国民の権利や裁判における課題について、法令や判例、新聞記事などから読み取っている。	・国会、内閣、裁判所の仕組みと働きについて理解し、その知識を身に付けている。また、議院内閣制を中心とする三権分立の仕組みとその意義について理解している。 ・司法権の独立と法に基づく裁判が憲法で保障されていることを理解し、その知識を身に付けている。	テスト ワークシート ノート 授業観察
		3節 地方政治と私たち 1 私たちと地方自治 2 地方自治の仕組み 3 地方財政の仕組みと課題 4 住民参加の拡大と私たち	・身近な地方公共団体の政治について進んで調べたり、地域住民の一人としてそのあり方を考えたりしている。	・住民自治や地方分権の考え方について、既習事項を踏まえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	・地域の課題や地方財政の変化について、資料を収集・選択し、復習の資料を比較して読み取ったり、その結果を図表などにまとめたりしている。	・地方自治の仕組みについて理解するとともに、地方財政の仕組みや課題について理解し、その知識を身に付けている。	テスト ワークシート ノート 授業観察

7月	第4章 私たちの暮らしと経済	1節 消費生活と経済 コンビニエンスストアの経営者になってみよう 1 私たちの消費生活 2 契約と消費生活 3 消費者の権利を守るために 4 消費生活を支える流通	・家計についてのシミュレーションや広告や消費者問題についての調査活動などを通して、自分の消費生活を振り返り、自立した消費者を目指すようとしている。	・消費生活や流通に関する様々な事例をもとに、経済活動における選択や消費者の権利と自立、流通の役割について多面的・多角的に考え、その過程や結果を適切に表現している。	・消費生活に関する課題や消費者問題について、事例や統計資料を収集し、読み取るとともに、その解決策についての自分の考えや意見をまとめている。	・身近な消費生活をもとに、自分たちの生活と経済との関連に気付くとともに、経済活動の意義について理解している。 ・消費者の権利と契約、消費者問題、流通の役割について理解し、その知識を身に付けている。	テスト ワークシート ノート 授業観察 話し合い活動
		2節 生産と労働 1 資本主義経済と企業 2 株式会社の仕組みと企業の社会的責任 3 労働の意義と労働者の権利 4 働きやすい職場を築くために	・企業の生産活動や社会的責任について関心をもち、具体的な事例を意欲的に収集している。 ・労働災害をはじめとする様々な労働や雇用の課題について、将来自分もかかわる課題として関心をもち、その解決策について考えようとしている。	・企業の経済活動について、消費者、株主、労働者などの立場から多面的・多角的に考察し、その結果を適切に表現している。 ・企業や雇用に関する課題について、さまざまな資料を基に多面的・多角的に考察し、その解決策について話し合う中で、自分の意見を分かりやすく説明している。	・企業や雇用に関する課題について、新聞記事やインターネットなどから情報を収集・選択し、適切にまとめている。 ・大企業と中小企業、正規雇用と非正規雇用などについて、資料や事例をもとに比較し、それぞれの特徴や課題について図表などに分かりやすくまとめている。	・企業の働きや株式会社の仕組み、現代企業の特徴と課題について理解するとともに、その知識を身に付けている。 ・労働組合の意義や労働条件の改善、非正規労働者や外国人労働者の増加などの雇用に関する課題について理解し、その知識を身に付けている。	テスト ワークシート ノート 授業観察
		3節 価格の働きと金融 1 市場経済の仕組み 2 価格の働き 3 貨幣の役割と金融 4 私たちの生活と金融機関 5 景気と金融政策	・日常生活における商品の価格についての疑問から、価格の役割について興味をもち、疑問の解決に向けた話し合いに意欲的に取り組んでいる。 ・銀行などの金融機関が社会生活において果たしている役割について関心をもち、意欲的に追究している。	・需要量、供給量と価格の関係について、対立と合意、効率と公正などの見方や考え方を活用して多面的・多角的に考察し、わかりやすく説明している。	・需要量、供給量と価格の関係や商品による価格変動の違いなどについて、統計資料から読み取り、分かりやすくまとめている。	・生産資源を効率よく配分する価格の働きについて理解し、市場経済の基本的な考え方を身に付けている。 ・社会生活における金融と金融機関の役割、経済活動における預金通貨の働きについて理解し、その知識を身に付けている。	テスト ワークシート ノート 授業観察
		4節 政府の役割と国民の福祉 1 私たちの生活と財政 2 政府の役割と財政の課題 3 社会保障の仕組み 4 少子高齢化と財政	・身近な社会資本や公共サービスについて調べる中で、政府の経済活動に関心をもち、 ・公債残高の増加や少子高齢化における社会保障の在り方などの財政上の課題について関心をもち、意欲的に話し合いに参加している。	・国民の生活と福祉の向上を図るために、国や地方公共団体が果たしている経済的役割について、財源の確保と配分の観点や、対立と合意、効率と公正などの見方や考え方を活用して多面的・多角的に考え、公正に判断している。	・財政に関する統計資料や環境保全の取り組みに関する資料などを、様々な情報手段を活用して収集・選択し、読み取ったことや考えたことをまとめている。	・国民の生活と福祉の向上を図るために政府が果たしている役割について、調査を通じて具体的に理解し、その知識を身に付けている。 ・公債残高の増加や少子高齢化と社会保障の充実、環境の保全などの財政上の課題について理解する。	テスト ワークシート ノート 授業観察 話し合い活動
6月	第4章 私たちの暮らしと経済	5節 これからの経済と社会 1 公害の防止と環境の保全 2 グローバル化する日本経済 3 豊かさや経済 コンビニエンスストアのお弁当を企画しよう	・公害の防止や環境の保全について、具体的な問題やその解決のための取り組みについて意欲的に追究し、自らにできることを考え、行動しようとしている。	・本当の豊かさとは何かについて、さまざまな事例を基に多面的・多角的に考察し、豊かな社会の実現のために何が必要か話し合っている。	・環境保全の取り組みや為替相場、日本の貿易などに関する資料を、インターネットや新聞記事などを基に収集・選択し、分かりやすくまとめている。	・環境の保全やグローバル化の中の日本経済の在り方、豊かな社会の実現などの日本経済の諸問題について、具体的な事例を基に理解している。	テスト ワークシート ノート 授業観察 話し合い活動
7月							

12月	第5章 地球社会と私たち	1節 国際社会の仕組み 1 国際社会における国家 2 国際連合の仕組みと役割 3 地域主義の動き 4 新興国の台頭と経済格差	・主権国家や国際連合、地域主義など、国際社会のさまざまな主体について関心を持ち、それらが果たす役割や意義について考えている。	・国際連合について、対立と合意、効率と公正などの観点を踏まえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	・国際連合をはじめとする国際機構に関する複数の資料を比較して読み取ったり、考察したことを分かりやすく発表したりしている。	・国際社会は、国家間の対等関係のうえに成り立っており、国際協調が必要であることを理解し、その知識を身に付けている。 ・国際連合をはじめとする国際機構が果たしている役割を理解し、その知識を身に付けている。	テスト ワークシート ノート 授業観察
		2節 さまざまな国際問題 1 地球環境問題－持続可能な社会の実現 2 資源・エネルギー問題－限りある資源と環境への配慮 3 貧困問題－公正な世界を創る 4 新しい戦争－平和な世界に向けて	・国際社会の抱える諸課題について関心を持ち、日本の果たすべき役割や個人としてどのようにかわっていったらよいのかを意欲的に考えている。	・地球環境の保全や日本のエネルギーの在り方、貧困の解消などについて、対立と合意、効率と公正、持続可能な社会などの観点を踏まえて多面的・多角的に考察し、発表や討論などを通して、自分の考えを適切に表現している。	・国際社会の抱える諸課題について、写真や統計資料を基に的確に読み取ったり、複数の資料を関連づけて課題どうしの関係を捉えたり、その解決のための方法について図表などにまとめたりしている。	・国際社会の諸問題のあらましと解決に向けての取り組みについて理解するとともに、解決のためには経済的・技術的な協力が大切であることに気づき、その知識を身に付けている。	テスト ワークシート ノート 授業観察
		3節 これからの人権保障地球社会と日本 1 文化の多様性の尊重 2 日本の外交の現状と課題 3 世界とつながる日本 4 世界平和のために	・世界平和と国際協力の実現について関心を持ち、意欲的に追究している。 ・世界の異なる文化や宗教を尊重し、世界平和を実現しようとする熱意と協力の態度が見られる。	・世界平和を実現するために日本の採るべき立場について、複数の具体的な事例を基に多面的・多角的に考察し、公正に判断している。	・地図や統計資料などを基に、現在行われている国際協力の実態と課題について読み取り、考えたことを図表や文章などにまとめている。	・日本が平和主義と国際貢献を外交の柱としていることを理解するとともに、日本が世界の諸地域とさまざまな面でつながり、国際社会の諸課題の解決のために活動していることを理解している。 ・核兵器の廃絶が世界の平和と実現するうえで重要な人類課題になっていることを理解し、その知識を身に付けている。	
2月	終章 よりよい社会をめざして 1 社会科の学びを持続可能な社会の形成につなげる 2 持続可能な社会を実現するための探究の方法 3 レポートの作成 4 探究を社会参画につなげる	・持続可能な社会を形成するために解決すべき課題に関心を持ち、その解決策を意欲的に探究している。	・持続可能な社会を形成するために解決すべき課題の解決策を、対立と合意、効率と公正などの見方や考え方を活用して、多面的・多角的に考察している。	・持続可能な社会を形成するために解決すべき課題を探究するにあたって、様々な資料を適切に収集、選択、活用している。	・持続可能な社会の形成に向け社会参画するにあたり、自然と環境、人権と平和、医療と開発などのテーマに関連した知識が基礎となることを理解するとともに、それらの知識を身に付けている。	テスト ワークシート ノート 授業観察 話し合い活動	